

■日時 平成24年8月22日(水) ■天候 晴れ

天理高校 対 京都府立朱雀高校

■球場 駒沢公園硬式野球場 第2試合 準々決勝 ■試合時間 2時間01分 ■備考

■審判 球審:遠藤 塁審:家田 杉田 渡辺登

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
朱雀	京都	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	6	4
天理	近畿・奈良	0	0	0	0	0	1	1	4	×	6	11	4

朱雀		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	左	黒木 竣太	3	1	0	0	三失		遊ゴ		死球		投飛					
2	三	松川 哲也	3	0	0	0	三犠		遊飛		一ゴ			三振				
3	捕	氏家 陣也	4	0	0	0	二失		一ゴ			三振		一ゴ				
4	遊	村上 智	3	0	0	1	中犠			左飛		二失		三振				
5	二	水谷 友哉	4	1	3	0		右安		投ゴ		右安			右安			
6	投	舩越 徹	3	0	2	0		投犠		左安		中安			二ゴ			
7	中	中村 圭佑	4	0	0	0		三ゴ		投ゴ		三ゴ			三失			
8	右	大嶋 将且	4	0	1	1		左安			捕邪		三振		遊ゴ			
9	一	仲谷 凌	4	0	0	0		三ゴ			三振		二ゴ		右飛			
合計			32	2	6	2	残塁:6		併殺:0									
備考																		

■バッテリー

投手
舩越 徹

捕手
氏家 陣也

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
舩越 徹	9	37	11	1	2	3

天理		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	中	飯田 佳伸	4	1	1	0	三ゴ		四球		右安	遊ゴ	中飛					
2	左	松下 賢太郎	4	1	2	0	左安		中飛		投飛		左安					
3	二	田頭 史也	4	1	1	0	二ゴ			投ゴ		二失		二安				
4	遊	西井 旬進	4	1	2	0		三ゴ		三ゴ		遊安		三安				
5	三	福澤 眞林	4	0	1	2		二飛		三振		中飛		左安				
6	捕	山本 侃	3	1	1	0		左安			左飛		三ゴ	犠失				
7	一	小阪 慎	3	1	2	1			左安		右飛		左2	死球				
8	投	九島 恒	1	0	0	0			三犠		右飛							
8	投	辰己 優貴	2	0	0	0							投ゴ	遊ゴ				
9	右	加藤 幸	4	0	1	1			捕邪			投ゴ	中2	一ゴ				
合計			33	6	11	4	残塁:7		併殺:0									
備考																		

■バッテリー

投手
九島 恒
辰己 優貴

捕手
山本 侃

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
九島 恒	6	25	5	2	1	1
辰己 優貴	3	11	1	3	0	0

■戦評

大会3日目、駒沢球場での準々決勝第2試合は1、2回戦をともに危なげなく勝ち進んだ天理高校と朱雀高校という昨年の準決勝と同じ顔合わせになった。先攻の朱雀は初回、先頭打者が敵手で出塁すると手堅く犠打で送りさらに敵手で一死一・三塁となると4番村上がきっちり中堅へ犠飛を打ち上げ1点を先制する。続く2回も安打で出塁した先頭打者をまたも犠打で確実に進めると今度は8番大嶋が左前適時打を打ち1点を追加する。この大会初めて追いつける展開となった天理は1、2回とも出塁はするものの盗塁失敗と牽制で走者が刺されてしまう。さらに3回には二死二・三塁の好機を作るが無得点に終わるなど流れを呼び込めない。追加点を上げたい朱雀は6回、敵失と安打で一死一・二塁と好機を作ると6番舩越の放った打球は中前へ。朱雀待望の追加点かと思われた矢先天理の好守に阻まれ二塁走者が本塁犠死。後続も打ち取られ追加点を奪えない。守備から流れをつかみたい天理はその裏朱雀の二つの失策を見逃さず1点を返す。続く7回、この回から救援した2番手辰己が朱雀打線を三者凡退に抑えると一気に流れは天理に傾く。その裏二死三塁から9番加藤の適時二塁打で同点に追いつく。しかしながら朱雀もここから踏ん張り後続を抑え逆転は許さず流れを完全に天理には渡さない。勢いに乗った天理は8回裏、三者連続安打で無死満塁とする5番福澤が左前へ2点適時打を打ちついに試合をひっくり返す。さらにこの回2点を加え4点差とし試合は最終回へ。粘る朱雀は先頭の水谷がこの試合3本目となる安打で出塁し二死ながら二・三塁と攻め込むが後続が断たれ試合終了。天理がベスト4に進出した。一方、朱雀の手堅い攻撃と好守は大いに天理を苦しめ敗れたとはいえその存在感は光っていたといえるだろう。